



○ 誠実

私は平成28年度までに小・中学校の校長という職で4校勤務しました。途中人事あり、中学校から小学校への校種変更もありと変化に富んだ8年間でした。いろいろと違う環境ではありましたが、卒業式などの式辞ではずっとこの「誠実」ということばを子どもたちに伝えてきました。私なりの解釈でこのことばを説明してみます。

柔らかく言い換えるならば、「なにごとにもていねいに、真心を込めて対応する。」ということでしょうか。家族にも、友達にも、先輩・後輩にも、先生にも、地域の方々にも、将来仕事をするときの同僚や上司・お得意様・お客様にも、自分の周りの全ての人たちにそうしてほしいと思うのです。また、人ではない動物・植物にも、自然のものにも、そうしてほしいと思います。そして何よりも“自分自身”に誠実でいてほしいと思います。

入学式の式辞で伝えましたが、時間の流れる速さは誰に対しても完璧に平等です。誰の2年間も同じ速さで過ぎていきます。自分自身に対してその時間の使い方を誠実に行うというのはどういうことがあるでしょう。

YIC グループの校訓は「鍛え磨く」です。講義（授業）では教職員が学生を鍛え磨く場面が多くあるでしょう。常に教材研究を行い、学生たちの力を少しでも大きく・高く・深くしていきたいと担当者は願い、実践していきます。さて、それ以上に大切なことは、学生が自分自身を“鍛え磨く”ことではないでしょうか。このことが“自分自身に誠実”であることだと私は思います。専門学校の学生の年齢は18・19・20歳またはそれ以上です。このことの詳しい解説はあえてしません。学生自身が考えてほしいと思います。

最後に、自分の周りの人に対して誠実に対応するということにも様々な場面があるでしょう。全ては記述できませんが、一つだけ紹介します。誰にでも今すぐできることです。それは「明るい気持ちのよいあいさつ」です。学生たちと出会って4日程度過ぎましたが、本校の学生にはその素質（明るさ）があります。もっと盛り上げることができそうなので続けてほしいと願っています。

自校自賛

第2弾 … 7日（金）に新入生歓迎会が行われました。

春休み中から学生会のメンバーが「学生会だより」を作成したり、教職員にクイズのインタビューをしたり、プレゼンを制作したりと頑張って準備をし、当日の司会進行などをすべて運営しました。そのおかげで楽しい親睦の会になり、学年を超えて名前等をたくさん覚えることもできました。ご苦労様でした。



←学生会のメンバーたち↑